

Dream Science 2013 in Shimizu

-Bringing people together-

みんなであつなく元気が出る

ドリームサイエンス

2013 in Shimizu



報告書

清水

静岡

科学の楽しさを
すべての人に

東海大学清水キャンパス

東海大学海洋学部
東海大学付属翔洋高等学校
東海大学付属翔洋高等学校中等部
東海大学付属小学校
東海大学付属幼稚園

編集・発行

「元気が出るドリームサイエンス」

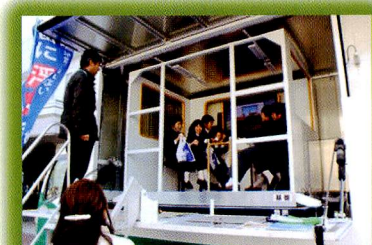
実行委員会

主催：元気が出るドリームサイエンス実行委員会

共催：静清信用金庫 / スルガ銀行 / 静岡銀行 / 清水銀行 /
東海大学付属翔洋高等学校・中等部 /
東海大学教育開発研究所 / NPO法人ガリレオ工房 /
NPO法人理科カリキュラムを考える会

後援：静岡市 / 静岡県教育委員会 / 静岡市教育委員会 /
静岡商工会議所 / 静岡朝日テレビ / だいいちテレビ /
テレビ静岡 / 朝日新聞静岡総局 / 産経新聞社静岡支局 /
静岡新聞社・静岡放送 / 日本経済新聞社静岡支局 /
毎日新聞静岡支局 / 読売新聞静岡支局 / 中日新聞東海本社
K-mix 静岡エフエム放送

協力：静岡科学館る・く・る / 静岡県地震防災センター / 静岡大学 /
静岡県立大学 / 静岡県立科学技術高等学校 / 静岡県立気賀高等学校
静岡県自然史博物館ネットワーク / 東海大学工学部 /
東海大学海洋学部 / 東海大学りかの集い / 東海大学付属高輪台高校
東海大学付属翔洋高校 / 日本平消防署 / 日立清水理科クラブ /
算数・数学交流会 / 神奈川県立 生命の星・地球博物館



大会役員

大会会長：田辺 信宏（静岡市市長）

大会副会長：高木 雅宏（静岡市教育長）
後藤 康雄（はごろもフーズ株式会社代表取締役会長・
静岡商工会議所会頭）

加藤 誠（静岡信用金庫理事長）
田子 博英（スルガ銀行執行役員常務）
長澤 友香（静岡科学館る・く・る館長）
滝川 洋二（東海大学教育開発研究所所長・
NPO 法人ガリレオ工房理事長）

大会運営委員：千賀 康弘（東海大学海洋学部学部長）
柴田 正憲（東海大学短期大学部学長）
岡田 喜裕（東海大学社会教育センター所長）
高橋 信由（東海大学付属翔洋高等学校校長）
鮎川 眞由美（東海大学付属小学校校長・付属幼稚園園長）

実行委員会

実行委員長：松下 哲郎（東海大学付属翔洋高等学校）

実行副委員長：酒井孝允（東海大学付属翔洋高等学校教頭）
宮城島國司（東海大学付属翔洋高等学校中等部教頭）

実行委員：村田滋一（静岡信用金庫）
平連剛（静岡銀行）
斎藤知子（清水銀行支店営業部）
飯田恵理（スルガ銀行清水三保支店支店長）
中村正史
（静岡市生活文化局文化スポーツ部参与兼文化振興課長）
石川眞巳（静岡商工会議所）
望月敬剛（静岡市教育委員会）
山内健敏（日立清水理科クラブ理事長）
海野和史（富士テレネット）
小林俊行（東海大学課程資格教育センター教授）
五月女昌史・松本一生（東海大学教育開発研究所）
岡村昭伸・望月幹郎・山田栄・山崎昌幸・杉村和彦・吉田
慎二・澤田祐一・廣田治俊・皆川勇太・込山典寿・山田芳
平・佐藤昌明・塩谷政宏・岩田直子
（東海大学付属翔洋高等学校および中等部）

開催の趣意

Purpose of Our Activities

近年、科学への関心や科学的に考える力の衰えに危機感を抱いている研究者や教育関係者により、今回の「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu」が開催されることとなりました。このイベントを機に、静岡県および静岡市清水区において、大人から子供までが科学に親しみを持ち、将来の日本を担う科学技術系の人材の発掘・育成をしたいと考えています。また、このイベントを契機に教育と研究と地域産業がコラボレーションし、地域経済、文化活動、生活などにおける活力の向上を目標としています。

結果報告

Activity Report

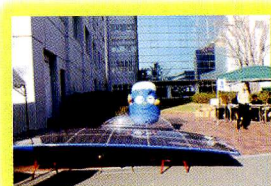
開催日 2013年12月7日(土)

会場 東海大学清水キャンパス

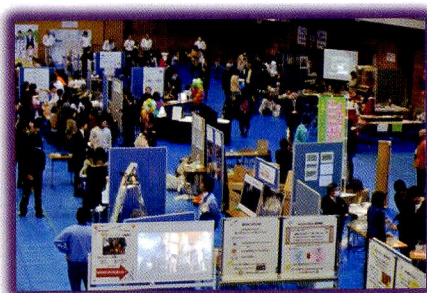
(東海大学付属翔洋高等学校・中等部)

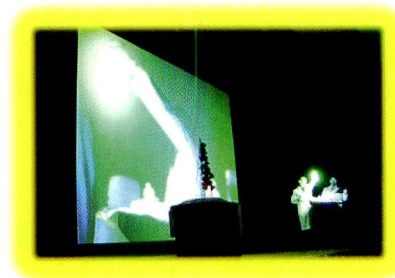
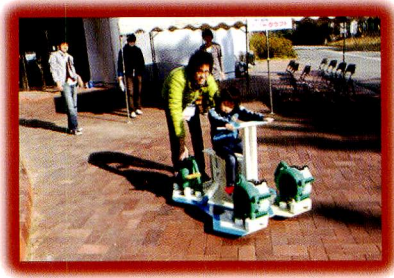


出展ブース数 63



来場者数 3550名





大会会長 田辺 信宏 (静岡市市長)

NOBUHIRO TANABE

ドリームサイエンス 2013 in Shimizu を終えてのご挨拶

「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu」が、企業・学校・団体の皆様、運営をお手伝いいただいたボランティアの皆様、そして実行委員会をはじめ関係の皆様のお力をおもちまして、大盛況のうちに終えることができましたことに心から感謝申し上げます。

当日は、昨年を越える数多くの体験ブースが設置され、子どもたちだけでなく大人までもが最先端の技術や科学実験に驚き、興味を引かれ、解説に耳を傾けるうち、いつしか会場は参加者の笑顔と熱気に包まれ、まさに清水キャンパスの地より、静岡の元気を発信できたのではないのでしょうか。

このように、楽しみながら学び、また世界を牽引する日本企業の技術を身近に感じられる機会は、子どもたちが将来の自分の姿を想像する上でも有意義であり、企業・研究者にとっても、日頃の研究の成果や自慢の技術を披露する場としても魅力的であると考えます。

今後も、この催しが地域と共に作りあげるサイエンスイベントとしてより一層充実したものとなり、静岡の科学文化向上の原動力となりますよう願いたします。



大会副会長 高木 雅宏 (静岡市教育委員会教育長)

MASAHIRO TAKAGI

ドリームサイエンス2013 in Shimizu を終えて

穏やかな冬晴れの中、第2回目でありましたドリームサイエンス2013が多くの来場者のもと、開催されました。

今回のテーマは、「みんなでつなぐ、元気が出るドリームサイエンス2013」でした。このテーマに基づいて振り返ってみますと、展示ブースは、高校、専門学校、大学、企業、そして、科学を愛好するグループの皆様の展示で会場が埋め尽くされていました。多くは、地元清水区に関連する学生や企業そして愛好家の皆様であり、まさに、地域の力が「つなぐ」科学の祭典であると、強く実感いたしました。

また、当日来場の皆様の表情は、ブースでの体験に驚き、各階の展示品に目をくぎ付けにして、笑顔あふれるものでした。「元気が出るドリームサイエンス」、まさに今回のテーマそのものが、会場のここかしこに広がっていました。科学の持つ、不思議や魅力を十分に感じる一日であったと思います。

多くの時間をかけて、企画を練り準備をされました関係の皆様へ、感謝の気持ちを添えまして、そして、次回の開催を楽しみにさせていただきます、振り返りの言葉といたします。



大会副会長 加藤 誠 (静岡信用金庫理事長)

MAKOTO KATO

行政や学校、企業、地域の皆さまの協力・連携が不可欠

ドリームサイエンスは、科学を担う人材の発掘・育成や地域経済の活性化を目的に始めました。2回目となる今回は、前回は大幅に上回る3,500人以上の方にご来場いただき、盛況のうちに開催されたことを心よりお慶び申し上げます。

当日は、幅広い年齢層の方々が一堂に会し、地域の子どもと大人とが一緒になって考えている光景に触れさせていただきました。「科学」を切り口として、行政や学校、企業、地域の皆さまがそれぞれの力を持ち寄り、ともに手を携えて取り組む本イベントの意義深さを改めて感じました。

今後、地域のイベントとして定着していくためには、これまで以上に行政や学校、企業、地域の皆さまが協力・連携していくことが不可欠であると考えております。地域社会の繁栄に貢献することを経営理念とする当金庫にとりましても、本イベントが恒例行事となり、毎年お手伝いさせていただけることを願っております。また、本イベントを体感した子どもたちが、いずれ活力あふれる地域の担い手として活躍してくれることを期待しております。

最後になりましたが、本イベントにご尽力くださいました実行委員をはじめとした関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。



大会副会長 田子博英 (スルガ銀行執行役員常務)

HIROHIDE TAKKO

地域と共に創るサイエンスイベント

今年で二回目となる『みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu』が大盛況のうちに幕を閉じました。協賛企業・関係団体のご協力のもと、昨年を大きく上回る 63 のブース出展をいただき、昨年比倍増となる 3500 人超の来場者をお迎えすることができましたことは、大会役の一人として大変喜ばしく、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

サイエンスの原点は、面白いことを見つけ、愉快地に学び、楽しんで考えることだと思います。メイン会場であるアリーナには、身近な実験から最先端の技術まで、幅広い科学のブースが出展され、来場者は目を輝かせながら各ブースを訪れていました。アリーナ外でも、弊社の「走る銀行」アクセスビークルを始め、パトカーや消防車、起震車など特殊車輛への乗車体験に子供たちが列をなしていました。翔洋ホールでは、滝川洋二先生による『面白サイエンスショー』を中心に、たくさんの歓声が響きわたりました。入口付近では、ゆるキャラと一緒に笑顔で写真を撮る、ほほえましい光景も見られました。

近い将来、ドリームサイエンスに来場した子供たちの中から、先端科学の分野において世界で活躍する人材が現れてくれることを楽しみにしつつ、来年以降も、教育・研究・地域産業がコラボレーションしたこの大会が、来場者の笑顔や歓声につつまれますことを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。



大会副会長 長澤 友香 (静岡科学館る・く・る館長)

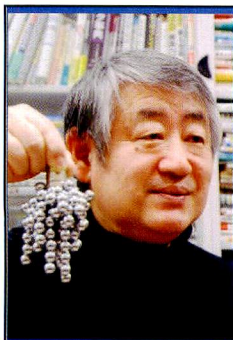
TOMOKA NAGASAWA

みんなで科学コミュニケーション

真っ青な空と海に見守られ「みんなでつくる元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu」が東海大学清水キャンパスで盛大に開催されました。今年度は、三保松原を構成遺産として含む富士山が世界文化遺産に登録された記念の年でした。会場となった翔洋高校からも、透き通った青空に映える雪の冠をかぶった霊峰富士が、美しく眺められた一日でした。

二回目となる今年は、終日で 3550 人の来場者に恵まれ、多くの市民の科学への興味・関心を育てる貴重な機会となりました。会場には出展者の熱意と、参加した親子の探究心と笑顔が溢れておりました。このイベントの大きな特色は、企業、大学、学校、施設、市民、科学愛好家等、様々な立場の方が集まり、「科学」という共通のキーワードで互いの想いを共有できることです。さらに当日ボランティアとして東海大学付属翔洋高校の中学生・高校生 250 名、大学生 50 名が参加していることも大きな特色です。21 世紀を担う若者のキャリア教育、人材育成の場としても重要なイベントです。

社会の中には様々な科学が溢れ、私たちの生活を便利で豊かなものにしていきます。ものづくりに携わる方々、研究者たち、その価値を伝え活用する方々、みんなが互いの想いを共有することで、新たな価値が創造されていきます。その営みこそ「科学コミュニケーション」、あなたも伝える人の一人になれるのです。「みんなでつくる元気が出る」という言葉に込められている想いをもっともっと多くの人に伝え、科学コミュニケーションを活性化させていきたいと願います。来年も皆様にまた会えますように、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



大会副会長 滝川 洋二 (東海大学教育開発研究所所長)

YOJI TAKIKAWA

まね出来ない日本初の科学のイベントに

みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu は、2年目ですが初年度の倍以上の参加者で、内容も日本の他の地域の科学イベントに無い特徴があります。今回も静岡にこんなにいい技術を持った企業があるのに、実際にブース展示を見るまで知らなかったと多くの方が言われていました。地元企業の世界に発信するような科学や技術的な工夫が地元の人・子どもの誇りをそだて、学ぶ意味を伝えてくれます。また、静岡駅前にある静岡科学館る・く・るの協力でそこで力をつけた科学ボランティアによる工夫をこらした出展も、他の地域にはまねの難しいところです。地域の高校や大学、会場の東海大(幼・小・中・高校・大学・大学院)が湘南校舎の世界と競争しているソーラーカーも含め多数出展。地元企業の魅力を伝え、ボランティアや教育機関の優れた工夫という視点でも日本の中のトップレベルになってきたと感じています。

今年は、東京だけでなく長野の企業の出展もありました。またテレビ静岡が66本の15秒のテレビコマーシャルを放映し、静岡新聞にも広告が掲載されました。富士山が見える8階展望レストランに地元の著名なお店が出店するなど、いろいろな工夫の盛り込まれた、静岡・清水でなければできない地域を活性化するイベントになってきています。皆さんと一緒に、さらに工夫をこらし、より大きく発展させていきたいと思っています。



大会運営委員 千賀 康弘 (東海大学海洋学部学部長)

YASUHIRO SENGA

静岡・清水から発信する科学と技術のイベントに

昨年に引き続き開催したドリームサイエンス 2013 は東海大学清水キャンパスに昨年の2倍以上の参加者を得て大盛況を博しました。清水キャンパス内の小学生、中学生、高校生、大学生と一緒にこの大きなイベントに参加して、科学の不思議に感動し、目を輝かせた1日でした。東海大学の学園機関のみならず、静岡大学、静岡県立大学はじめ、県内の複数の高校からも参加していただき、幅広い分野の科学を体験することができたことも大きな成果でした。また、県内の様々な業種の企業の皆様の展示では、静岡の技術力の高さを改めて知ることができました。すべての参加者の皆様にお礼申し上げます。これを機に、静岡・清水を誇りに思い、科学が大好きな子供がどんどん増えることを期待します。今後も、静岡・清水だからこそできる科学、静岡・清水にある優れた技術を発信する東海大学清水キャンパスのイベントとしてますます発展させたいと思います。ご支援をお願いいたします。



大会運営委員 高橋 信由 (東海大学付属翔洋高等学校・中等部校長)

NOBUYOSHI TAKAHASHI

ドリームサイエンス 2013 in Shimizu は最高

東海大学の教育開発研究所の教育理念である「生きた言葉で生きる学び」を実践し、本学が思想とする「調和の取れた文明社会を建設する」人間を育成することを目標とした、一連の地域連携教育改革プロジェクトの中でも最大のイベントである、「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu」の第2回が、延べ入場者数も約3500人・出展、出品協力企業ブース数60という参加・協賛をいただき、概ね満足のいく結果となりました。これも偏に開催趣旨に賛同されて出展出品をしていただいた、世界に誇る清水の企業や教育機関の方々のご支援とご協力の賜物と感謝を申し上げます。また、このイベントを企画運営するに当たって、ご指導をいただいた滝川洋二教授をはじめとする、東海大学教育開発研究所の先生方には、来年度への貴重な提言をいただきましたこと、来年度第3回の実施に向けて大きな力となることと思います。

結びに、大会会長を快諾していただきました田辺静岡市長様、副会長をお願いした高木静岡市教育長をはじめとした教育関係者と静岡市の商工会議所、地元の金融機関、清水の企業経営者の皆様に、強力なバックアップをしていただいたことに心より御礼を申し上げますとともに、来年度実施の本イベントへのさらなるご支援をいただきたくお願いを申し上げます。

私達はあの目を輝かせながらブースを廻る子供たちと、優しく分かりやすく説明する企業関係者、そして、それをサポートする本校の生徒ボランティア、その傍らで子供を頼もしげに見つめる保護者の方々の姿を忘れることができません。来年度、第3回ももっと素晴らしいイベントになるように、工夫、努力を積み重ねていきたいと思っております。



大会運営委員 鮎川 眞由美 (東海大学付属小学校校長・付属幼稚園園長)

MAYUMI AYUKAWA

静岡県の科学の力に感動!!

皆様の多大なるお力添えのお蔭を持ちまして、第二回ドリームサイエンスを無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。私は、前任校(東海大学付属浦安高等学校)でもこの企画に関わりましたが、率直な感想としては「静岡県、畏るべし」。静岡県の持つ大きな科学の力とそのポテンシャルに感動いたしました。

今回、付属小学校では理科としての出展をし、また、全児童をグループ単位で見学させ学ばせて頂きました。熱心に体験コーナーで取り組む子どもたちの姿があらこちらで見受けられ、安堵いたしました。来場者の方々にインタビューを試みたところ、「工夫を凝らしたブースが増えて楽しめました」「来年も必ず子どもを連れて来ます」という嬉しい声や、中には「宣伝不足なのは」「このような素晴らしい企画は、もっとアピールすべき」という、貴重なご意見もありました。これらは、次年度に活かしたいと思っております。

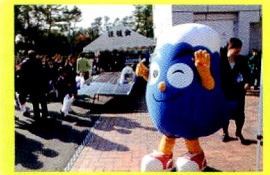
本校園は体験重視の教育を特色とし、小さな体験の積み重ねが子どもの心に自信をつけさせ、科学への興味や関心を引き出し、大きく成長させると信じ体験重視の教育を日々実践しています。「理科離れ」が大きな社会問題となっていますが、ドリームサイエンスの各ブースで歓声をあげて取り組む子どもたちの姿を見ると、この問題のカギを握るのは大人であり、家庭や教育機関の連携で必ずや克服できる、と私は確信しています。

ドリームサイエンスは地域の皆様の協力なしでは動きません。是非、次代を担う子どもたちの未来の為に、今後ともご支援をお願いいたします。

出展ブース一覧

ブース番号	出展団体名	ブース名
1/110	株式会社 小野田産業	エアー断震システム
2	翔洋高校 特別進学コース	UVレジンでアクセサリー作り
3	静岡信用金庫 (協力)静岡県地球温暖化防止活動推進センター	自転車発電でエコ新幹線を走らせよう
4	株式会社 エスクリエイト	世界中に届けよう！インターネットTV体験
5	翔洋高校・中等部 キッズコーナー	キッズコーナー
6	株式会社 大輝	「レーザー」ってなに？
7	静岡県自然史博物館ネットワーク	浜の砂を観察しよう！～星砂を探せ～
8	日立アプライアンス(株)清水事業所	エアコンはどうして省エネなの？
9	県立科学技術高校物質工学科	自分だけの石けんを作ろう！
10	静岡県地震防災センター	「ぶるる」ってなに？
11	しずてつストア 花だより	心のサイエンス*花占い
12	鈴与マテリアル	「3Dプリンター」って何だろう
13/111	静岡科学館る・く・る SEクラブ	ツインロータリーのヘリコプターを飛ばそう
14	静岡科学館る・く・るSC講座 物理チーム	地球カレンダー
15	株式会社 三保造船所	船の出来上がるまで
16	丸長鍍金株式会社	錫めっき
17	高島産業株式会社	多機能デスクトップ加工機マルチプロ加工実演
18	神奈川県立 生命の星・地球博物館 +翔洋高校	火山をつくる
19	静岡県立大学 環境科学研究所	超能力？！いいえ科学です
20	静岡県立大学食品栄養科学部	けんぴきょうでいろいろな生き物をかんさつしてみよう
21	東海大学 算数・数学交流会	多面体を作ろう
22	興津螺旋	ねじ製造体験
23	株式会社 兼子	段ボールでパンダを作ろう
24	県立気賀高校	混色・補色コマを作ろう！
25	株式会社ハル・インダストリー	オリジナル消臭ビーズを作ろう！
26	翔洋高校 数学科	星型多面体の工作
27	静岡科学館る・く・るSC講座 物理チーム	ぐるぐるモーター





28	静岡県立大学 食品栄養科学部 公衆衛生学研究室	静岡県民が健康で長生きする食生活の「ナゾ」を探る
29	株式会社 テクノスルガ・ラボ	微生物1000分の1ミリの世界
30	株式会社 藤田鉄工所	鍛える “エンジン部品の鍛造を体験しよう”
31	ヤマダユニア株式会社	発電を体験しよう
32	納得住宅工房株式会社	ニオイが消える！？壁
33	東海大学付属高輪台高校	スライムをつくろう！！
34	日立清水 理科クラブ	浮き絵を作ろう
35	日立清水 理科クラブ	コイルモーターをつくろう
36	東海大学工学部機械工学科	トンボはどうして飛べるんだらう？
37	株式会社 メイコー	アクリルで箱を作ってみよう！
38	株式会社 アムクルー	ペラペラ照明～照明の新しいカタチ～
39	コスモス工業株式会社	コスモス工業株式会社のエコ商品
40	一般社団法人 全国宅地防災技術協会	微生物と炭酸塩が国土を守る
41/108	スルガ銀行	走る銀行！アクセスビークル
101	東海大学チャレンジセンター	これが ソーラーカーだ
102	東海大学 りかの集い(大学)	ホバークラフト
103	東海大学海洋学部	ワンダフル・マリンアニマルズ
104	中央静岡ヤクルト販売株式会社	腸人会議！腸の仕組みを体感しよう！！
105	東海大学海洋学部 水棲環境研究会	ぼくたちしぞーかのお魚だもんで
106	清水警察署	ピカッと交通安全
107	静岡パブリック・リレイション	ふわふわ遊具
109	日本平消防署	地震・火事でも「生きる力」を身につけよう
112	株式会社ヒバリヤ	食事の提供(ラーメン、オムライス、飲料など)
301	東海大学教育開発研究所	滝川先生のビッグサイエンスショー 光の大実験
301	ガリレオ工房	理科読
302	東海大学 りかの集い(大学)	浮沈子・ライデン瓶
302	東海大学 りかの集い(大学)	尿素の結晶作り
302	東海大学 りかの集い(中等部)	フレミング左手の法則の体験
302	東海大学 りかの集い(小学校)	自主研究の発表とメリーの思い出
303	明石被服興業株式会社	進化し続ける制服
304	万栄堂	科学関連書籍 展示・販売
305	メディカル東海株式会社 興津ハリキュウセンター	介護(かいご)・ハリキュウの紹介
306	静岡大学 技術部	紙ブーメランをつくって遊ぼう
307	東海大学海洋学部 水族応用生態研究会	手作り水族館 海ものがたり
308	株式会社 ルミカ	科学の力で光を作ろう
801	株式会社 鐘庵	桜エビかき上げ実演(販売)

No. 1

エア一断震システム（出展：株式会社 小野田産業）

当社はエア一断震システムの静岡県総販売代理店です。揺れを感知すると空気の力で瞬時に建物を基礎ごと浮かせ、地震の揺れを建物に伝えません。これまでに東日本大震災を含め地震による被害は1件もありません。また、実物大実験による効果も実証済です。世界初となるエア一断震体験車には多くの方に試乗していただき、その効果に皆さん大変驚いていました。



No. 2

UV レジンでアクセサリ作り（出展：翔洋高校 特別進学コース）

レジンによるアクセサリ作り体験は楽しんでいただけただでしょうか。今回使ったUVレジンには紫外線を当てると固まる合成樹脂です。紫外線の光エネルギーに反応して液体から固体に変化します。この樹脂を使用した印刷や塗装・コーティングは紫外線硬化塗装と呼ばれています。他にも歯の治療などにも使われています。今回の体験をきっかけに、レジンに興味を持っていただいた方もいて有意義な試みだったと思います。



No. 3

自転車発電でエコ新幹線を走らせよう

（出展：静岡信用金庫（協力）静岡県地球温暖化防止活動推進センター）

エアロバイクを漕ぎ、その電力で新幹線を走行させる「エコ新幹線」を出展しました。新幹線が動き出すと、乗車している子どもたちは嬉しそうな表情をみせ、一生懸命自転車を漕いでいるお父さん・お母さんを応援していました。「エコ新幹線」を体験することで、親子で電気の大切さについて考える良い機会になったと思います。体験終了後、「温暖化防止のためのちょいエコ宣言」を実施し、エコ活動の意識付けも図りました。

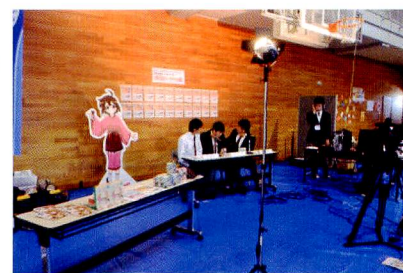


No. 4

世界中に届けよう！インターネットTV体験

（出展：株式会社 エスクリエイト）

静岡の名産を擬人化した「もえしよくプロジェクト」から誕生したキャラクター。これからのキャラクターを SNS を活用して世界中に発信して行きます。ブースでは USTREAM を活用して生放送で動画を配信。司会、ゲスト、コメンテーター、カメラマン、プロデューサーと役割分担を疑似体験できるブースです。



No. 5

キッズコーナー（出展：翔洋高校・中等部）

来場された小さいお子さんのために、キッズコーナーを用意しました。アリーナにはマットを敷いておもちゃで遊んでもらいました。正面玄関には、ふわふわ遊具を設置し楽しんでもらいました。

それぞれのコーナーに高校生や大学生のボランティアが付き、訪れた小さいお子さんと一緒に楽しい時を過ごしました。



No. 6

「レーザー」ってなに？（出展：株式会社 大輝）

株式会社大輝は、レーザー加工機を展示、実演しました。お客様のお名前などを木の板から「千社札」に加工、コゲた部分を拭いたり、マスキングしたテープをはがしたり、根付ひもを通すといった仕上げ作業をご自身にお願いし、完成品をお土産としてお持ち帰り頂きました。約 250 名の方々に体験して頂きました。加工時間が追いつかず、ご迷惑もお掛けしてしまいましたが、大勢のお客様に喜んで頂けたのではと思っております。



No. 7

浜の砂を観察しよう！～星砂を探せ～

（出展：静岡県自然史博物館ネットワーク）

みなさんは海辺の砂をじっくり見たことがありますか。普段、何げなく見落としてしまう浜の砂も実はいろいろな形があります。今回のブースでは、来場された方に浜の砂を観察し、星砂を探してもらいました。



No. 8

エアコンはなんで省エネなの？

（出展：日立アプライアンス（株）清水事業所）

普段から私たちの生活でよく使われるエアコンの仕組みを展示、解説をしました。エアコンは、圧縮した空気を一気に広げることで冷たい風を作り出しています。このことを確かめることのできる実験器具も用意し、作りながらエアコンの仕組みを理解してもらいました。たくさんの方に来場いただき、感謝しています。



No. 9

自分だけの石けんを作ろう！（出展：県立科学技術高校物質工学科）

静岡県立科学技術高等学校物質工学科 1 年生による「自分だけの石けんを作ろう！」

このブースでは、電子レンジで石けんのもとを溶かし、自分の好みの色やにおいを付け、ハートや動物の枠に流し込み石けんを固めます。非常に手軽に、そしてできた石けんも素晴らしい作品となり参加者全員笑顔があふれました。



No. 10

「ぶるる」ってなに？（出展：静岡県地震防災センター）

「ぶるる」って、なに？—建物の揺れを科学する—と題し、木造建物骨組模型（ぶるる）や免震装置模型（THK(株)静岡支店提供）を使用した振動実験を行いました。筋交いの適切な配置や免震装置の設備が振動を抑制、共振を回避する不思議さに気づいてもらえたと思います。また、小さなお子様向けに紙工作「紙ぶるる」を作ってもらいました。

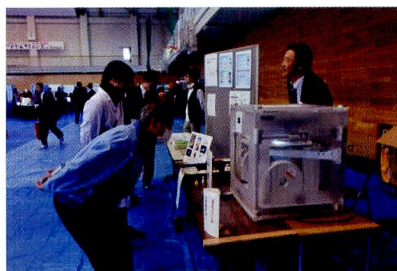


No. 1 1**心のサイエンス*花占い（出展：しずてつストア 花だより）**

しずてつストア みずほ店の花屋「花だより」です。リーズナブルな価格でお届けするカジュアルフラワーをコンセプトに、フレッシュなお花をご提供しています。今回は花でココロを豊かにする取り組み・花育（はないく）を得意とする心理カウンセラーが「ココロのサイエンス・花占い」を行いました。先着100名の予定で念のため120名分の花材を用意しましたが、14時には終了。来場者に喜んでいただけたようで嬉しく思います。

**No. 1 2****「3Dプリンター」って何だろう（出展：鈴与マテリアル）**

今回は3Dプリンターによるデモ造形をさせていただきました。来場されたみなさんがとても興味をもっておられることがよくわかりました。来場された方はご家族連れの方から生徒さん、先生方といろいろな方にご覧いただけたかと思しますので、3Dプリンターについて少しはご理解いただけたのではないかと考えております。3Dプリンターを使っていろいろなアイデアを生み出してくれるお子様たちがたくさん現れるよう期待しております。

**No. 1 3****ツインロータリーのヘリコプターを飛ばそう
（出展：静岡科学館る・く・る SEクラブ）**

ヘリコプターは、ローター（回転翼・プロペラ）を回転させて生み出した力を利用して機体を浮かします。実際のヘリコプターは、主ローターと補助ローターがありバランスをとっています。ツインヘリコプターは、同じ原理でふたつのローターの相反する回転（上下のローターが逆に回る）でバランスをとり、空に上がっていきます。材料は身近なプラスチックコップ、ストロー、輪ゴムなどを使ってできちゃうよ！

**No. 1 4****地球カレンダー（出展：静岡科学館る・く・る SC 講座物理チーム）**

地球の歴史をノーカットで7mの年表に表し掲示しました。生命が誕生してから私たち人類が生まれるまでの流れを正確なスケールで感じて欲しかったからです。さらに実感するために、地球が誕生した46億年前を正月の1月1日、現在を大晦日の12月31日の夜12時とし、オリジナルのパソコンゲームに挑戦しながら楽しく生物の進化を調べ、キーとなる12件の出来事を入れた進化のカレンダーを作り、持ち帰ってもらいました。

**No. 1 5****船の出来上がるまで（出展：株式会社 三保造船所）**

私たちは三保半島で船を造っている会社です。今回のドリームサイエンスでは私たちが造っている船がどのようにできるのか、写真や模型を使って解説をしました。

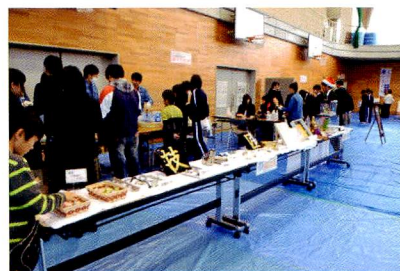
三保半島にはいろいろな会社があったり、いろいろな産業があることをたくさんの人に知っていただけたら嬉しいです。



No. 16

錫めっき (出展：丸長鍍金株式会社)

体験ブースでは、銅板に①マジックで絵や文字を書き、②銅板をすずめっき、③マジックをアルコールでふきとり、銅色の絵や文字が見える実験を行いました。小学生から大人まで約200名の方々が実験に参加され、また展示物にも様々な質問もしていただき、『めっき』についてご興味を持っていただけたと思います。



No. 17

多機能デスクトップ加工機マルチプロ加工実演 (出展：高島産業株式会社)

当社では「多機能デスクトップ加工機 Multi Pro」を出展し、ストラップへお客様の名前など好きな文字を刻印するデモ加工を行いました。本来であれば微細精密金属加工が可能な装置であり、その辺がPR出来なかったのは残念ですが、来場者の方に喜んで頂き嬉しく思いました。

ボランティアの学生さんには1人で大変頑張って頂き、茅野市のイベントの時よりも充実した内容で行う事が出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。

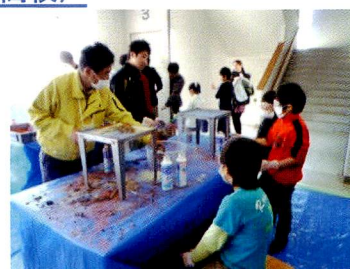


No. 18

火山をつくる

(出展：神奈川県立 生命の星・地球博物館+翔洋高校)

小学生連れの親子や小学生のグループが参加されました。内容は、凝固剤入りの廃油を溶岩に、カラーサンドを火山灰に見立てて噴火させ、火山を作る実験です。火山作り実験は2タイプあり、1回ごとに完結するマイ火山作りと、共同作業で1日かけて作る大きな富士山（小御岳、古富士、新富士を順番に作るもの）です。共同作業のものは高さ15cmほどの富士山となりました。



No. 19

超能力?! いいえ科学です (出展：静岡県立大学 環境科学研究所)

私たちのブースでは、「超能力?! いいえ科学です」と題して、この原理を使った「スプーン曲げ」や、共振の原理に基づいた振り子や共振鍋の実験をしてもらいました。スプーン曲げは、子供達だけでなく、保護者の方々にも好評で、自身で曲げて驚かされている方も多くいらっしゃいました。不思議なチカラに思えるこれらの現象も、実際に自分の手で体験することで、科学のチカラを感じてもらえたことと思います。



No. 20

けんぴきょうでいろいろな生き物をかんさつしてみよう

(出展：静岡県立大学食品栄養科学部)

前回出展した「キイロショウジョウバエのかんさつ」に加え、今回はプラナリアやクマムシも加えて観察会を行いました。初めての試みでしたが、どの生物も特徴ある姿形をしているため、参加者の皆さんは興味津々で顕微鏡を覗いていました。普段は拡大して観る機会のない生き物達です。観察に参加したことで、地球上にはさまざまな生き物が暮らしているということを実感していただけたのではないかと、思います。



No. 2 1

多面体を作ろう（出展：東海大学 算数・数学交流会）

東海大学算数・数学交流会は、静岡地区の東海大学学園内の幼稚園から大学までの教員の有志が集う会です。今年は、翔洋高校2～3年生と、切頂八面体の紙工作をしました。小さな紙を折って糊で貼るというものですが、立体なので、見た目よりも難しい工作です。高校生にとっては、多面体の性質や成り立ちを学習すると共に、人との接し方、教え方、話し方など、様々なスキル向上となりました。



No. 2 2

ねじ製造体験（出展：興津螺旋）

昨年に引き続き、イベント用に改造した転造機を使ったねじづくりと、陽極酸化装置を使ったチタン発色処理を体験していただきました。

自らの手で機械を動かしてねじが加工されていく様子や、ねじの表面が一瞬にして色付く瞬間を目の当たりにし、子どもはもとより大人までもが「すごい！」を連発されている様子を横で覗いながら、参加してよかったと実感しました。加えて、弊社ブースの手伝いや昼食会場での案内、イベントの準備・後片付けなど、翔洋高校の皆さんにはお世話になりました。有難うございます。



No. 2 3

段ボールでパンダを作ろう（出展：株式会社 兼子）

今回は、段ボールシートを使ったパンダの模型を作るという内容で出展しました。大人も子供も段ボールでもこんなことができるのか、などとても喜んでもらいよかったと思います。紙をリサイクルし、様々なものに変化させるという創造性を持ってもらうことができました。



No. 2 4

混色・補色コマを作ろう！（出展：県立気賀高校）

回転混色を利用したコマと、補色が見えるコマを作りました。黒い線が別の色に見えたり、見えないはずの色が見えたりするので、体験して下さった方々から驚きの声を聞くことができました。



No. 2 5

オリジナル消臭ビーズを作ろう！（出展：株式会社ハル・インダストリー）

消臭剤メーカーである弊社の出展内容は「オリジナル消臭ビーズを作ろう！」でした。弊社製品「消臭ビーズ」には消臭剤の機能を効果的に利用するために、吸水ポリマーを使用しています。その形状の変化を実際に見てもらい、仕組みを学んでいただきました。専用容器のペイントコーナーも好評で想定以上のご来場者様に楽しんでいただきました。体験を通じて、少しでも「モノづくり」への興味が高まれば幸いです。



No. 26

星型多面体の工作（出展：翔洋高校 数学科）

星型の4面体・6面体・8面体・20面体などの立体を、長方形の形をした折り紙を折ってパーツを作ります。そのパーツをうまく組み合わせて立体に仕上げていきます。細かい作業で集中力と根気が必要ですが、高校生のスタッフにお手伝いしてもらいながら、みなさん最後まで作りあげました。これらの作品は、かの有名なレオナルド・ダ・ヴィンチが考案した「ダ・ヴィンチの星」とも呼ばれています。



No. 27

ぐるぐるモーター（出展：静岡科学館る・く・る SC 講座物理チーム）

私達のブースは生活に活かされている科学を知ってもらいたくて、何処にでもある「モーター」をテーマにしました。

「なぜ?」「どうして?」と子供達の関心を引くようなパネル作り、体験工作の容易さを存分検討しました。また、渦電流の発生原理が確認出来る装置や簡素な仕掛けで大げさに動く形状のモーターを展示しました。予想を上回るブース訪問者に感謝すると共に、今後一人でも多くの理科好きな子どもが育つことを期待します。



No. 28

静岡県民が健康で長生きする食生活の「ナゾ」を探る

（出展：静岡県立大学 食品栄養科学部 公衆衛生学研究室）

「静岡県民が健康で長生きする食生活のナゾを探るための食生活調査の紹介」と、「物忘れ予防を目指して開発したお菓子を試食しよう」の2つのテーマを出展しました。会場内における食品の試食を特別に許可していただき、学生をはじめ多くの方々に「地元の特産物を含むお菓子」に興味を持っていただけました。「食」を通じて、「食生活と健康・長寿の科学」を考えていただく契機となったならば幸いです。

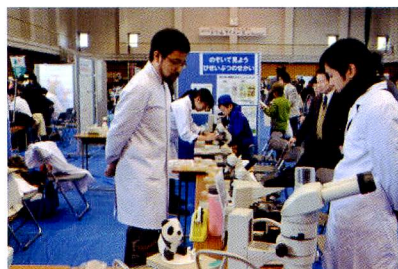


No. 29

微生物 1000 分の 1 ミリの世界（出展：株式会社 テクノスルガ・ラボ）

顕微鏡を使って肉眼では見ることのできない世界をのぞいてもらいました。

昨年から2回目の出展になりますが、昨年よりもたくさんの方に来ていただき、観察をしていただくことができました。来場された方からは、もっといろいろなものを見てみたいと言っていただき、興味を持っている方がたくさんいることがわかりました。



No. 30

鍛える “エンジン部品の鍛造を体験しよう”（出展：株式会社 藤田鉄工所）

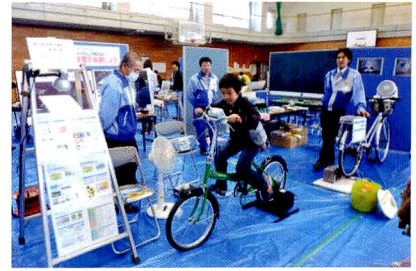
鍛える“エンジン部品の鍛造を体験しよう”というテーマのもと、小型エンジン部品の鍛造のビデオと鍛造の説明の掲示コーナーとゴム製のコンロッドのストラップ作り体験コーナーを出展させていただきました。消しゴムを使って暖めて、成型し、バリ抜きをするという体験を通じて製造業の基本である鍛造工程を楽しみながら理解していただくことができよかったです。



No. 3 1

発電を体験しよう（出展：ヤマダユニア株式会社）

自転車発電装置を2台出展しました。地味な展示にもかかわらず、思いのほか多くのお客様に体験していただき嬉しかったです。お客様の年齢も5歳から18歳と幅広く来ていただき良かったです。



No. 3 2

ニオイが消える！？壁（出展：納得住宅工房株式会社）

“薩摩中霧”という住宅の内壁仕上りに使う素材で、“臭いと湿気を取る不思議な泥団子”を作りました。“薩摩中霧”とは桜島周辺の火砕流が堆積したシラスを、天日乾燥にかけ作られ、水で溶き壁に塗って使用します。シラスの主成分である珪酸は除湿剤の原料、そしてアルミナはガスの吸着能力が高く吸着した臭いを再放出しない特性を持ちます。自然素材 100%なので素手で触れながら130名ほどの方に泥団子を作って頂きました。



No. 3 3

スライムをつくろう！！（出展：東海大学付属高輪台高校）

東海大学付属高輪台高校SSHクラスの生徒がスライムの作成方法について研究し、理想的な硬さのスライムをつくるための材料の配合を見つけました。その成果を発表し、来場した子供たちに披露しました。当日は多くの子供たちがブースに来てくれて、スライム作りを楽しんでもらえたようです。また先生役の生徒たちも、子どもたちにスライムのつくり方を教えることで科学の楽しさを伝えることができ、満足した様子でした。



No. 3 4

浮き絵を作ろう（出展：日立清水 理科クラブ）

“電熱線で木を切ることができる”ということは、子どもの頭には無かったことのようにあり、大きな感動を与えることができました。浮き絵の題材が、世界遺産になった富士山と三保の松原であったことも、来場者の感心を呼びました。そのため、幼稚園児から大人まで列をなして順番を待ちながら、参加してくれました。ありがとうございました。ボランティアの学生/生徒さんのご協力も感謝しています。



No. 3 5

コイルモーターをつくろう（出展：日立清水 理科クラブ）

頭では、“なぜ、コイルが回るのだろう”と不思議がり、手は、ペンチやねじ回しを使って、ぎこちないながらも、モノを仕上げている子どもの姿に、私たちも一緒に感心し、感激いたしました。

ボランティアの学生/生徒さんも、一生懸命に、子どもに接してくれたことは、感謝に堪えません。同時出展した電磁石ベル、メリーゴーランド、2極モータ、水ロケットを触りながら、「僕も作りたいな」に私たちは励まされました。



No. 36**トンボはどうして飛べるんだろう？（出展：東海大学工学部機械工学科）**

トンボロボットと、それをつくるための3Dプリンターや3D加工機を展示し、東海大学工学部機械工学科の研究内容を紹介しました。見学者にはもれなく、3D加工機でイニシャルを彫ったキーホルダーをプレゼントしました。この体験により、子供達が、科学に少し興味を持ってもらえたのではないかと考えています。

**No. 37****アクリルで箱を作ってみよう！（出展：株式会社 メイコー）**

私たちはアクリルという樹脂でみなさんに箱を作ってもらいました。5センチ角程度の色とりどりのアクリルを5枚選んでもらい、それを接着剤を使って組み立てました。

うまく作ると、水を入れてももれない箱を作ることができます。たくさんの方に体験していただきましたが、みなさんは上手にできたでしょうか。

**No. 38****ペラペラ照明～照明の新しいカタチ～（出展：株式会社 アムクルー）**

LED照明設備「FLS」の紹介と、LEDや看板照明の構造を体験しながら知ってもらえるようなブースコンセプトを持って参加いたしました。常時2～3人くらいの来場者の対応でいいかな？と思っていましたが、予想以上に来場者のLEDへの関心が高く、熱心に説明を聞いていただき、子供たちも溢れるほど来場、体験してもらいLEDや看板の仕組みを伝えることができたと思います。「ペラペラ照明は静岡発」を知っていただける良い機会をいただきました。

**No. 39****コスモス工業株式会社のエコ商品（出展：コスモス工業株式会社）**

今回、長野県の茅野市の企業で初出展しました。コスモス工業株式会社です。エコ商品の展示と、長野県茅野市の観光アピールをさせていただきました。弊社の製品であります段ボール製簡易トイレ（エコ コスモス トイレット）に、沢山の方々に座っていただいて、段ボールが丈夫である事を実感してもらえてよかったです。その他のエコ製品にも関心を示していただきました。又、アンケートにも快く引き受けていただきまして感謝しております。茅野市は、山々がきれいな所です。是非遊びに来てください。心より皆様のお越しをお待ちしております。

**No. 40****微生物と炭酸塩が国土を守る（出展：一般社団法人 全国宅地防災技術協会）**

微生物の力を借りて自然界にある鉱物「炭酸塩」を短期間で作ってしまうという地盤改良技術の紹介をしました。今までの概念とは異なる技術ですので、まずは知っていただくため、実際に固まっている砂の接触体験や、児童・生徒には実際に微生物を用いて10分程度で炭酸塩ができる様子を観察してもらいました。準備していた実験用微生物がちょうどなくなるくらい体験してもらいました。来場者の方々の驚きやふしぎを持っていただけていたら幸いです。



No. 41/108

走る銀行！アクセスビークル（出展：スルガ銀行）

走る銀行“アクセスビークル”を展示しました。トラックにATMを搭載しており、現金の預け入れ、引き出し等ご利用いただけます。当日も実際にたくさんの方にご利用いただきました。普段は神奈川県内のショッピングセンターの駐車場で営業しております。静岡県内は巡回していないので、今回は当社マスコットのスルちゃんと一緒に出張してきました。ブースではお金を数える体験や一億円の重さを体感していただきました。



No. 101

これがソーラーカーだ（出展：東海大学チャレンジセンター）

神奈川県の東海大学のチャレンジセンターからトラックで来ました。今回、会場を走らせたのは最新のソーラーカーです。

実際に走る姿や、運転席を見てもらい、楽しんでいただけたでしょうか。



No. 102

ホバークラフト（出展：東海大学 りかの集い（大学））

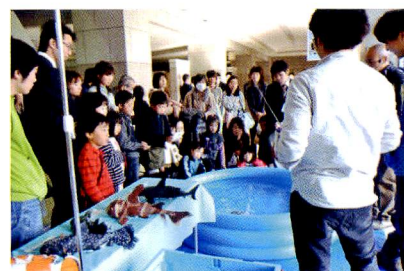
ホバークラフトの説明だけでなく、実際に乗車を体験させることによってホバーの仕組みや物理現象を肌で感じる事ができたのではないのでしょうか。私たちのブースで科学をより深く知ってもらうことができたらうれしいです。



No. 103

ワンダフル・マリンアニマルズ（出展：東海大学海洋学部）

住宅建材の断熱材・窓枠アルミフレーム端材・ネオプレーンゴム等の産業廃棄物やペットボトル等を利用し、海洋生物の姿・遊泳状態が本物そっくりの水中ロボットを作製しています。これを利用し、海洋生物の生態行動・物作りへの興味をもってもらうことを目的としています。要望がある施設・団体への実演会を実施し、多くの人に海・海洋生物・物作りの魅力を伝えたいと思います。



No. 104

腸人会議！腸の仕組みを体感しよう！！

（出展：中央静岡ヤクルト販売株式会社）

今回は『腸内探検トンネル』を用いた大きなブースを出展しました。内容は、『腸人会議 腸の仕組みを体感しよう！！』と題し、口から体の中に入り、途中、乳酸菌の動く様子を顕微鏡で観察したり、ストラックアウトで悪い菌を倒したり、消化器の仕組みを学んだりと様々な体験をし、最後に『腸内冒険トンネル』を経ておならの音と同時に外に出る体感コースです。

来場者からは、「勉強になった」「とても面白かった」などの感想を多くの方からいただきました。



No. 105

ぼくたちしぞーかのお魚だもんで(出展:東海大学海洋学部 水棲環境研究会)

ブース内容:静岡県内の河川、海の環境再現を目的とした水槽展示
当日の様子:年齢問わず、多くの人に見に来ていただき、また、興味を持っていただくことができた。部員の説明を熱心に聞いてくれる方も多く、部員達にとっても良い経験になったと思う。高校の手助けもあり、準備、片付けもほとんど予定通り進めることができた。
感想:展示場所も良いところを提供していただき、お客さんに喜んでもらえる良い展示ができたと思います。

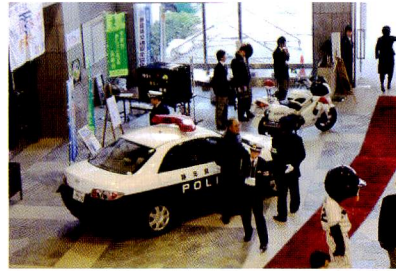


No. 106

ピカッと交通安全(出展:清水警察署)

1階のエントランスにブースを開き、パトロールカーと白バイを展示しました。

パトカーや白バイにたくさんの人に乗っていただくことができ、楽しんでいただくことができました。



No. 109

地震・火事でも「生きる力」を身につけよう(出展:日本平消防署)

- ・地震体験車で迫りくる東海地震に対する生きる力の自信をつけよう。
 - ・煙体験をして、火災から身を守る自信をつけよう。
- たくさんの方に乗車し、楽しんでもらうことができました。



No. 301

滝川先生のビッグサイエンスショー 光の大実験

(出展:東海大学教育開発研究所)

翔洋ホールでは、滝川洋二先生とルミカのコラボレーションによるビッグサイエンスショーを行いました。大きな風船やバネ、大きなスクリーンを使って、普段よりもスケールの大きな光の実験で、500人の来場者を楽しませてくれました。

ルミカは、薬剤を混ぜると発光する実験で大きな花を色とりどりに光らせ、会場を沸かしてくれました。

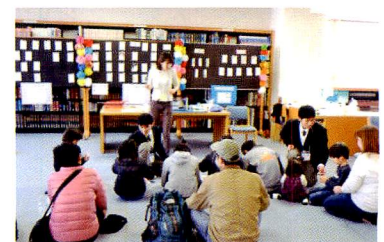
滝川先生からは、地球規模でみれば学校に行くことができ勉強ができる日本の子供たちは本当に恵まれているよというメッセージもいただきました。



No. 301

理科読(出展:ガリレオ工房)

サイエンス(理科)に関する面白い本がたくさんあります。私たちは図書館で、そういったサイエンスの面白い本の読み聞かせを行いました。途中で実験も取り入れたり、質問をしたりしながら進めていきました。来てくれた皆さんはとても積極的に答えてくれたのでとてもよかったです。これからもサイエンスに興味を持ち続けてくれるとうれしいです。



No. 302**浮沈子・ライデン瓶（出展：東海大学 りかの集い（大学））**

私たち「理科の集い」は、海洋学部の教育課程の有志を募って「浮沈子・ライデン瓶」を配布する形で、ブースを出展しました。実際に、ブースの前に見本を並べ子供に興味をもってもらいました。浮沈子は、子供が中の魚型のタレビンに色を付けたり、星などの形をしたビーズを中に入れ装飾を施し、本人たちが満足浮沈子を提供できました。ライデン瓶は、興味を持ってきた子供たちにうまく体験してもらうことができました。

**No. 302****尿素の結晶作り（出展：東海大学 りかの集い（大学））**

三保プロジェクトでは、尿素の再結晶を雪に見立てて、クリスマスらしい松ぼっくりの装飾を行いました。

少し難しい内容だったかもしれませんが、興味を持って説明を聞いてもらえたので、後々再結晶の勉強をする時に役立ってくれるのではないかと思います。実体験を通じて化学現象を体験してもらうことで子供の化学への興味や理解を深められたと感じました。

**No. 302****フレミング左手の法則の体験（出展：東海大学 りかの集い（中等部））**

磁石と電流の力を利用して、2本のアルミパイプの上でパイプを転がす装置を体験したうえで、自宅で工作ができるセットをお分けしました。動くことに興味を持ってもらえたり、習ったことがあるフレミングの法則に当てはめる人がいたりと様々な立場での体験をしてもらいました。

**No. 302****自主研究の発表とメリーの思い出（出展：東海大学 りかの集い（小学校））**

本校では、自主研究をすすめており、こういう場で30年近くの歴史を展示、今年度の代表作品をお知らせできた。来場者の方も興味深く手にとってみていただいた。今年は、不思議な紙折り地検の場を設けたが、こちらも好評で、子どもから大人まで挑戦していただいた。また、小学校で10年近く飼育していたヤギの骨格標本を中等部、高校とタイアップして作業し、展示することができたが、ドリサイならではの企画だと思う。

**No. 303****進化し続ける制服（出展：明石被服興業株式会社）**

当社では3つの実験を行いました。①汚れやニオイをシャワーで簡単に洗い流せる実験、②水分を素早く拡散させベト付きを軽減させる実験、③光を熱に変えて暖かくスポーツを楽しめる体育着素材の実験です。翔洋中等部の生徒の皆さんにお手伝い頂き真剣にお客様に説明することで、多くの方々に興味や関心を持って頂くことができました。平成26年度より翔洋高校・翔洋中等部の制服が、これらの最新素材を使用した制服にモデルチェンジされます。今後も誇りと愛校心を持ち更なる伝統を築いていくことを願います。



No. 304**科学関連書籍 展示・販売（出展：万栄堂）**

今回、初めて参加しました。遊べる科学本を中心に図鑑・迷路・クイズ・漫画・伝記・大人の雑学入門など幅広い分野の書籍を用意しました。科学に関連した書籍がこんなにたくさん種類があることをご存知でしたか。私たち自身も驚くほどたくさん種類があるのですね。ドラえもんの科学おもちゃでお楽しみいただいたり、滝川先生のサイエンスショーでご紹介いただいたり、大盛況でした。来場者の皆さんに感謝しています。

**No. 305****介護（かいご）・ハリキュウの紹介（出展：メディカル東海株式会社）**

鍼灸マッサージ治療院・接骨院に訪問マッサージ・デイサービス・居宅支援・訪問介護・介護予防型デイサービスなど東洋医学と介護事業を営む会社です。

鍼灸師・マッサージ師・柔道整復師以外にも、社会福祉士・介護福祉士・看護師・ケアマネージャーなど多くの有資格者が在宅介護を支援します。

**No. 306****紙ブーメランをつくって遊ぼう（出展：静岡大学 技術部）**

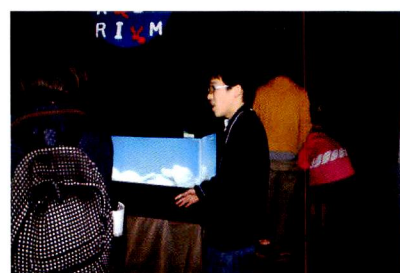
ブーメランは、回転を与えて投げると戻ってくる玩具で、素材や形も色々なものがあります。今回の出展は、カラー工作用紙を使用し、子どもでも簡単に作ることができる3枚羽のブーメランを作製し、投げて遊んでもらいました。子どもたちは、投げたブーメランが戻ってくると、驚きと喜びを感じ夢中になって遊んでいました。近な物を使って、ものづくりの楽しさと科学の不思議さを体験して頂けたと思います。

**No. 307****手作り水族館 海ものがたり（出展：東海大学海洋学部 水族応用生態研究会）**

私たちは会場を暗くし、明るい水槽が浮かび上がるように配置して水族館を作りました。水槽の上下部分も隠すように配置することでより本物の水族館に近づけています。

展示した魚は、普段は研究会に所属する学生が飼育しているもので静岡の海に生息するものから遠く離れた海に生息するものまで幅広く集めました。

来場された方にも楽しんでもらえてよかったです。

**No. 308****科学の力で光を作ろう（出展：株式会社 ルミカ）**

通常社内業務では体感できない次のようなことを感じれたことが大変良かったと思っております。来場者皆さんに直にふれあい、親子連れのお子さんたちと対話形式で実験が出来反応を見ながら実験を演示でき、子どもたちの感動を直に感じ・化学発光に関心を持って頂けたこと。反省点はブースでの実験の時間配分・来場者をスムーズに案内できるようにする点。次回もまた参加出来ればと思っております。



「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス2013 in Shimizu」

12月7日、東海大学付属翔洋高校（静岡市清水区折戸）

科学の魅力に触れよう

静岡市清水区折戸の東海大学付属翔洋高校で12月7日、「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス2013 in Shimizu」が行われる。

教育機関、企業、地域が連携し、科学実験や科学に関する本を読む「理科読」などを通じて、将来の科学技術系の人材を発掘・育成するのが目的。

当日は、小中学校の理科研究発表や実験コーナー、各企業ブースの展示などのほか、午後1時からは、テレビ番組「世界一受けたい授業」などでおなじみの同大の瀧川洋二教授によるサイエンスショーが行われる。

午前10時～午後4時。入場無料。問い合わせは東海大学付属翔洋高校054・334・0726。



昨年のドリームサイエンスの様子

メディア報道

テレビ静岡 で、

スポットCMを流しました

【期間】2013年11月～12月

【内容】15秒CM 66本

静岡新聞

2013年

11月23日

実験やショー通し
科学の面白さ伝達
来月7日、清水区
静岡市内などの企業
・団体が実験やショー
を通して科学の面白さ
を伝える「ドリームサイ
エンス2013」(静岡
新聞社・静岡放送後
援)が12月7日午前10
時から、静岡市清水区
折戸の東海大学清水キ
ャンプスで開かれる。参
加無料。

3Dプリンター、造
船技術、空気で家を浮
かせる免震装置、消臭
ビーズ作りなど約60の
ブースがそれぞれ独自の
科学実験を披露す
る。東海大翔洋高、中
NPO法人、金融機関
などで行われるイベント
実行委員会の担当者は
「地元企業の技術力の
PRの場でもあり、子
どもだけでなく大人も
楽しめる」と話してい
る。

テレビドラマの科学
実験を監修する瀧川洋
二・東海大教育開発研
究所長の「おもしろサイ
エンスショー」もあ
る。

問い合わせは東海大
翔洋高・中へ054
(334) 0726

静岡新聞 2013年12月8日 (朝刊)

科学の楽しさに触れる



教育機関や
企業出展
実験など多彩に
出られるドリームサイエ
ンス2013(静岡新聞
社・静岡放送後援)が
7日、静岡市清水区
の東海大翔洋高、中
で開か
れた。

県内教育機関と企業・
団体が科学とものづく
「みんなでつなぐ元
気

が出るドリームサイエ
ンス2013(静岡新聞
社・静岡放送後援)が
7日、静岡市清水区
の東海大翔洋高、中
で開か
れた。

趣向を凝らした60のブ
ースが並んだ。多くの家
族連れが訪れ、実験、実
験、製作体験、ショーな
ど多彩な催しを通して科
学の一端に触れた。

発研究所の瀧川洋二所長
(教授)が各種の実験を
披露し、科学現象を分か
りやすく解説した。同大
湘南キャンパスの学生が
開発し、世界大会を戦う
ソーラーカーも構内を展
示走行した。

さまざまな教育機関、企業が
ブースを開設した。静岡市清
水区の東海大翔洋高、中

他にインターネットなどでも
たくさん記事がありました。

また、フェイスブックでドリーム
サイエンスのページを作ったり、ツ
イッターで広報や当日の実況中継を
したりしました。

静岡新聞 YOMO と静岡

2013年12月1日号

東海大学付属翔洋高等学校・中等部 プレゼンツ

みんなでつなぐ元気が出る
ドリームサイエンス
2013 in Shimizu!

12月7日(土)

会場 東海大学清水キャンパス
(東海大学付属翔洋高等学校中等部)

時間 10:00～16:00

入場料 無料

東海大学教授 瀧川洋二先生の
おもしろサイエンスショー
13:00～13:40 定員700名

交通アクセス

臨時無料シャトルバス(清水便)

時刻表

JR清水駅発	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30
JR清水駅発	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30

※翔洋発、JR清水駅行も随時運行します

主催 元気が出るドリームサイエンス実行委員会 事務局
お問い合わせ 元気が出るドリームサイエンス実行委員会 事務局
(東海大学付属翔洋高等学校 中等部)
静岡市清水区折戸9-20
TEL.054-334-0726 担当 山下

アンケート集計結果

【中学生以上】アンケート回収枚数 159枚

1. 協力して下さった方

性別：男（59）・女（82）

年齢：10代（12） 20代（2） 30代（52） 40代（59）

50代（13） 60代（6） 70代以上（3）

学生：中学生（9） 高校生（5） 専門学校（4） 大学生（4）・院生（4）

職業：会社員（62）・教員（4）・公務員（5）・研究員（0）・主婦（52）
・無職（0）・自営業（1）・その他（6）

住所：清水区（54）・葵区（18）・駿河区（37）・その他（22）

2. 今日の活動は楽しかったですか？

とても まあまあ あまり 全然
楽しかった（122） 楽しかった（26） 楽しくなかった（1） 楽しくなかった（1）

3. 今日の活動は分かりやすかったですか？

とても まあまあ 少し とても
分かりやすかった（102） 分かりやすかった（40） 難しかった（2） 難しかった（0）

4. 以前にもこのような活動に参加したことがありますか？

よく参加している（11） 参加したことがある（24） 今日がはじめて（109）

5. また参加したいと思いますか？

積極的に 機会があれば あまり もう
参加したい（71） 参加したい（82） 参加したくない（1） 参加したくない（1）

6. 今まで、自然や科学・技術に興味がありましたか？

とても まあまあ あまり 全然
興味があった（58） 興味があった（66） 興味はなかった（55） 興味はなかった（0）

7. 今日参加して、自然や科学・技術への興味が高まりましたか？

さらに興味を持った（148） 少し興味を持った（53） 少し興味が薄れた（1） 興味がなくなった（1）

8. 今日参加して、今日のような活動への参加を友人・知人に勧めたいと思いますか？

積極的に勧めたい（57） 勧めたい（69） あまり勧めたくない（1） 勧めたくない（1）

9. 今日の活動をどこで知りましたか？（複数選択可）

チラシ（88） ポスター（6） 新聞（9） テレビ（1） ホームページ（2） 広報誌（2）
科学館・公民館（1） 知人の紹介（24） 回覧板（2） その他（20）

10. 今日の活動はお子様にとっていかがでしたか？ #お子様と一緒に参加した保護者の方のみお答えください

とても まあまあ あまり つまらな
楽しそうだった（100） 楽しそうだった（15） 楽しそうではなかった（0） そうだった（0）

11. その他

- このようなイベントを多数企画してほしい（40代・女・主婦）
- もう少し食事が充実していたら！でも、無料でここまで楽しめたのは本当によかったです。（30代・主婦）
- 事前にパンフレットがもらえたらよかった。（40代・女・会社員）
- と～っても楽しかったです。学校もすてきですね。生徒さんもみんな感じ良くて。（40代・女）
- 沢山のお試しや、多彩な参加ブースがあり、とても楽しめました。長居してしまったので、もっと休憩スペースなどがあると助かります。（40代・女・主婦）
- 仕事が難しく失敗してしまったので、次は小学生でも簡単にできるものを作ってほしい。（30代・主婦）
- イベント毎の凡の所要時間を提示してくれてると、予定が立てやすいと思います。（40代・男・会社員）
- 学生達にあいさつをして頂いて気持ち良かったです。（30代・男・会社員）
- 子どもたちが楽しく時間を過ごせて科学に感心（関心？）を持ったようです。
- とてもいいイベントでした。学生さんが優しく子どもに声を掛けてくれ、うれしかったです。（40代・主婦）
- 無料で、親としてとても助かります。又、ぜったいやってください。
- 保護者として、出展している学校も含めて、学校案内ブースがあるとありがたいです（30代・会社員）
- 1日のみでなく、2日、3日してほしいです。（30代・女・会社員）
- 昼食になるものが少しでも販売しているとありがたいです。
- 8Fだけでなく、ブースの近くにも大人が休憩できる場所があればうれしいです。（30代・女・主婦）
- もう少し宣伝の方が良いのではないですか。（40代・会社員）

- 徒歩で会場に来たが、正門の案内が駐車場しかなく、敷地内に入っても案内が無く、会場がどこかわからず困った。(30代・男・会社員)
- 前回より地域企業が増え、そのレベルと魅力が増大したと思います。
- パンフレットの案内図がわかりにくかったです。(40代・女・主婦)
- 企業が多くブースを出展していて、他の同様な企画にないおもしろさと教育的価値を感じた。(30代・男・教員)
- 滝川先生のショーでは、科学実験だけでなく、省エネや勉強の大切さ、勉強できる事のしあわせ等のコメントが良かった。(50代・女・会社員)
- 技術紹介を子供、大人向けに提供しており、とても良かったです。(男・会社員)
- 東部、伊豆地区にも宣伝してほしいです。(40代・主婦)

【小学生以下】アンケート回収枚数 90枚

1. 協力して下さった方

3歳(2)、4歳(3)、5歳(0)、6歳(6)、7歳(13)、8歳(15)、9歳(17)、10歳(17)、11歳(26)、12歳(8)

性別 男(46)、女(42)

住所 清水区(40)・葵区(16)・駿河区(23)・その他(島田1、富士3、藤枝2)

保育園(1)・幼稚園(7)・小学校1年(10)・2年(8)・3年(15)

4年(15)・5年(12)・6年(9)

2. 今日の活動は楽しかったですか？

とても 楽しかった(82) まあまあ 楽しかった(7) あまり 楽しくなかった(0) ぜんぜん 楽しくなかった(0)

3. 今日の活動はわかりやすかったですか？

とても わかりやすかった(60) まあまあ わかりやすかった(15) すこし むずかしかった(8) とても むずかしかった(1)

4. まえにも今日のような活動に参加したことがありますか？

参加したことがある(18) 今日がはじめて(64)

5. また、やってみたいですか？

とてもやってみたい(71) まあやってみたい(7) あまりやりたくない(0) ぜんぜんやりたくない(0)

6. いまでも、今日の活動でやったようなことは好きでしたか？

とても好きだった(63) わりと好きだった(26) あまり好きではなかった(1) きらいだった(0)

7. 今日の活動に参加して今日やったようなことが好きになりましたか？

とても好きになった(77) 好きになった(11) あまり好きになれなかった(0) きらいになった(0)

8. 今度は今日のような活動にお友達を誘ってみたいですか？

とても誘ってみたい(57) 誘ってみたい(28) あまり誘ってみたいくない(6) 誘ってみたいくない(2)

9. 今日の活動のことを誰から聞きましたか？

家のひとから(46) 先生から(22) お友達から(6) その他(学校、子供新聞 10)から

10. その他

- とても楽しかった。次はもっと体験をしてみたい。(小5・女)
- いろいろなことをくわしくおしえてくれてわかりやすかった。(小6・女)
- こんどはきょうやんなかったことをやりたいです。(小1・女)
- アクセサリー作り、スライムを作ろう(小4・女)
- こんどはきょうやんなかったことをやりたいです。(9歳・男)
- ヤクルトのところでさいごにヤクルトをプレゼントしてくれてうれしかったです。(8歳・男) (小5)
- またさんかしたいし、色いろな人とふれあえていいと思う。(小3・女)
- 火山を作ったことと、カメレオンにさわれるところがよかった(小3・男)
- いっぱいじっけんをしたいです。じしゃく、いきもの、ひかるみず。(幼稚園・女)
- 魚をとってみたい。ありがとうございました。(小6・女)
- 魚の展示が楽しかった。魚のロボットのうごきが本物のようですごく楽しかった。(10代・男・小学生)
- けんび鏡ではもっといろいろな物を見てみたくなった。炭さんカルシウムのことは友達に自まんしたい。
- 海のこうぞう、海をつくろう(小4・男) ● すごくたのしかった(小1・男)
- するが銀行のスルちゃんがかわいかった(小4・女) ● 職業体験になるような事がいいですね(小1・女)
- 2日間くらいやってね(幼稚園・男) ● 水中ロボットじっけんかい。(小2・女)
- 1年ごとにまいかい来たい。(9歳・男) ● 次はモーターカーを作りたい(小4・男)



実行委員 松本一生（東海大学教育開発研究所）

KAZUO MATSUMOTO

ドリームサイエンス 2013 を終えて

2013年12月7日、東海大学付属翔洋高等学校・中等部を会場として「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス 2013 in Shimizu」を開催し、無事に終わることができました。これは、静岡市をはじめとして、ご支援ご協力をいただきました皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

このサイエンスイベントは、子どもから大人まで物づくりの楽しさや、科学や自然現象の不思議さなどを体験し、『科学』を身近で楽しんでいただくことを目的としています。今年で2回目の開催でしたが、8団体の共催、15の後援、60社の協賛、33団体の協力を得て、ブース数が63（内、企業ブース30）、来場者も3550人（主催者発表）というとても大きなものとなりました。

「理科離れ」と言われて久しいなか、このサイエンスイベントがきっかけとなり、1人でも多くの方に科学の面白さ、素晴らしさを実感していただくとともに、清水がさらに活気あふれた元気のある町になることを期待しております。

最後になりますが、「みんなでつなぐ元気が出るドリームサイエンス in Shimizu」が今後もより一層充実したものとなり、ますます多くの方々に『科学』と触れ合っていただきたいと思い、次回の開催にも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



実行委員長 松下哲郎（東海大学付属翔洋高等学校）

TETSURO MATSUSHITA

ドリームサイエンス 2013 を終えて

たくさんの方に支えられてドリームサイエンス 2013 が大盛況で開催されたことに、感謝申し上げます。来場された方を楽しませよう、わくわくさせよう、元気にさせようという出展者の皆様と、会場で誰か困っている人はいないか、迷っていないかと気を配ってくれたボランティアの皆様と、危ないところはないか、スムーズに進行するかと常に備えて下さっていた実行委員の皆様と、ドリームサイエンスに関わったすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

アンケートを読みますと、来場された方が楽しい時間を過ごせたことがよく分かります。もっと見たかった、もっと早く来ればよかった、来年も絶対来ます、こんな声が聞かれました。あわせて、会場の案内、休憩所、PR などにつきまして来年へ向けてのご意見、ご提案も頂戴いたしました。

ドリームサイエンスは2014年も続きます。今年を越えるドリームサイエンスになるよう工夫をかさねていきたいと思っております。たくさんの方々の参加をお待ちしております。

私は、普段は高校で化学を教えています。ドリームサイエンスに関わって、これまでとはまったく違う畑の仕事に取り組みしてもらいました。何と言って呼びかけると仲間が増えるか、どんなPRをするとお客さんが集まるか、どんな働きかけをすると人と人がつながるか、分かってきたような気がします。そしてこのドリサイを創ることこそ、壮大な科学実験（サイエンス）だと考えるようになりました。

共催

静岡信用金庫 / スルガ銀行

静岡銀行 / 清水銀行

協賛

株式会社大輝 / 鈴与マテリアル株式会社

株式会社三保造船所 / 興津螺旋株式会社

株式会社ルミカ / 株式会社小野田産業

興津ハリキュウセンター

静岡甲株式会社/株式会社静岡パブリック・リレーション

明石被服興業株式会社 / 株式会社ディクソン広告

株式会社ハル・インダストリ ヤマダユニア株式会社

納得住宅工房株式会社 / 株式会社エスクリエイト

公益財団法人日本数学検定協会 / 株式会社メイコー

株式会社勝又熔接工業所/株式会社鐘庵/株式会社 SETO

コスモス工業株式会社 / 静岡鉄道株式会社

有限会社フジナミシート / 株式会社共立電機製作所 / JTB 中部静岡支店

株式会社東海ソフト開発 / 株式会社藤田鐵工所 / 丸長鍍金株式会社

鈴与建設株式会社 / 株式会社四葉商会 / 株式会社テクノスルガ・ラボ

株式会社兼子 / 高島産業株式会社 / 一般社団法人全国宅地防災技術協会

東海大学川根本町の会 / 中央静岡ヤクルト販売株式会社 / 株式会社ナリカ

株式会社アムクルー / 大塚製薬株式会社 / 静鉄ストア花だより

東翔会 / 株式会社ヒバリヤ / 株式会社万栄堂 / はごろもフーズ株式会社

日立アプライアンス株式会社 / 東海教育産業株式会社 / 舞台照明 JAP

米久ベンディング株式会社 / おかずやはらぺこ / 株式会社丸和運輸機関

東海ウイング株式会社 / みどりのふきたクリニック / 株式会社テレビ静岡

株式会社富士テレネット / 東京海上日動火災保険株式会社

次回開催予定

2014年12月7日(日)

会場：東海大学清水キャンパス

問合せ先

「元気になるドリームサイエンス」実行委員会事務局

静岡県静岡市清水区折戸 3-20-1

東海大学付属翔洋高等学校内 (担当 松下)

TEL:054-334-0726

FAX:054-334-0827